

北九州港(ひびきコンテナターミナル)PFI事業の概要

コンテナターミナル の概要	平成15年度供用開始予定 - 15m岸壁(2バース) - 10m岸壁(2バース) 埠頭用地 約40ヘクタール
事業の内容	ガントリークレーン等の公共荷捌き施設等の整備及びターミナル全体の運営
整備費	PFI事業者が行う公共荷捌き施設等の整備費用 約150億円
事業期間	25年間(平成15~40年度)
スケジュール	平成12年 5月 北九州市が実施方針公表 12月 P S A社(シンガポール港他を運営) 新日鐵、上組等 17社から成る企業グループを優先交渉者に選定 平成13年12月 北九州市とグループの中核出資者であるP S A社と の間で基本協定締結 平成14年10月末までに運営会社を立ち上げ、事業実施協定を締結(今次変更) 平成15年度供用開始予定 なお、平成13年8月に都市再生プロジェクト(第2次決定)に選定された。

[完成予想図]



[位置図]

